



Creating intelligence that empowers the global society of tomorrow

インテージグループは、1960年に市場調査の専門機関として創業して以来、マーケティングリサーチを中核に、システムソリューション事業やヘルスケア領域の情報サービスを展開する、極めてユニークな企業グループへと成長しました。

成長を支えてきた原動力は「情報力」です。これは、情報を「収集する力」「加工・分析する力」「価値に転ずる力」の3つの要素から成り立っています。

現在、情報の種類と量は膨張の一途をたどっています。インターネットの進化によるメディアの多様化と生活者の嗜好・行動の超細分化。この傾向は、ソーシャルネットワークの急速な普及により、さらに加速することが予想されます。これに呼応して、情報の収集方法や分析方法も大きく変化を遂げようとしています。いわゆる「ビッグデータの時代」が到来しているのであり、これに伴って私たちが競合とする相手も、従来のリサーチ企業からIT業界や広告業界といった様々な業種の企業へとシフトしてきているのです。

こうしたなか、私たちは当社のコアコンピタンスである「情報力」を時代の先端に適合させるべく、絶えざる研鑽、研磨を続けています。それは、プラットフォームの進化というかたちで具現化されます。数値、テキスト、画像、音声…いかなる情報にも対応して収集・加工・分析を推進していくことのできる仕組み。これがプラットフォームです。そして、同時に総力を挙げて取り組んでいるのが人財の育成です。どのような時代を迎えようと、情報を価値に転ずることができるのは人間だけであり、これを徹底して追求できるのもまた、結局は人間なのだ。と、私たちは考えています。

2013年10月、これらの実現を目指しさらなる企業価値の向上を図るため、インテージグループは、持株会社制へと移行しました。当グループは、成長分野への資源配分の最適化、グループ会社間のコラボレーション、グループ共通業務の集約・効率化を図り、生活者の変化を捉える新たな「知」の創造と、アジアを中心としたグローバル展開を加速させてまいります。

私たちはいかなる環境下にあっても、お客様のビジネスに貢献することによって、その先にいる人々の生活を豊かにし、地球社会の持続的発展に寄与するというビジョンを堅持していきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年10月



代表取締役社長

宮首 賢治

INTAGE Group's History

インテージグループの歩み

インテージグループは、変化に対応するために「進化することをやめない」という企業としてのDNAと、「調査とシステムの融合」という独自の事業スタイルにより、50年もの長きにわたって持続的な成長を遂げてきました。

お客様のビジネスの成功のために、そして、すべてのステークホルダーと社会のために、これからもインテージグループは歩み続けます。

連結売上高の推移

1960年創業

1960 1970 1980 19

■ 1960年
株式会社社会調査研究所設立

■ 1960年
SDI開始、カスタムリサーチ開始

■ 1963年
システムソリューション
事業開始

■ 1964年
SCI開始



当時文京区本郷にあつた本社ビル



SDIパンフの一部

■ 1973年
旧本社ビル(現 ひばりヶ丘事業所)完成



ひばりヶ丘事業所

■ 1977年
SLI開始

■ 1981年
POS化対応
プロジェクトを開始

■ 1988年
売上高
100億円を
突破

- インテージグループ
- 市場調査・コンサルティング事業
- システムソリューション事業
- 医薬品開発支援事業

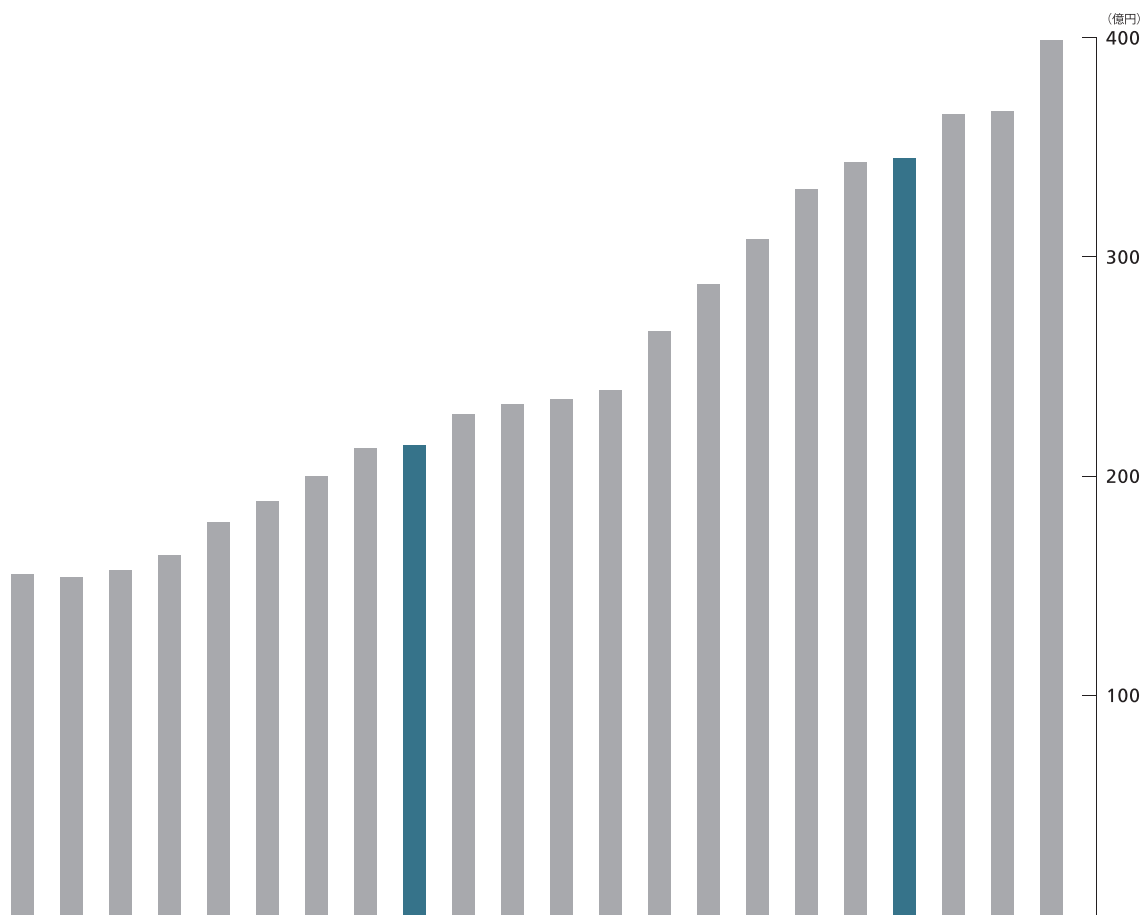


秋葉原本社

インテージ グループの ビジョン

Vision of INTAGE Group

私たちは、グループ各社
が保有する情報やシス
テムについての専門性
を背景に、お客様のビジ
ネスの成功に貢献する
ことによって、その先の
人々の暮らしを豊かに
し、地球社会の持続可
能な発展に寄与します。



90

2000

2010

1992年
SCIスキャンニングシステム開始

1994年
SRI開始



1999年
インターネット調査開始
中国・上海事務所開設

1999年
医薬品開発支援事業開始

2000年
IBRDジャパン株式会社
(現 株式会社アスクレップ) を子会社化

2001年
株式会社インテージへ社名変更
JASDAQ市場へ上場

2002年
英徳知市場諮詢(上海) 有限公司設立
(現 INTAGE CHINA Inc.)

2003年
CRO業務を株式会社アスクレップに統合

2005年
インテージ秋葉原ビルを開設し、
本社を移転

2005年
personal eye 開始

2008年
東京証券取引所市場第二部へ上場

2008年
INTAGE (Thailand) Co., Ltd. 設立

2009年
東京証券取引所市場
第一部銘柄に指定

2009年
聯恒市場研究有限公司を子会社化
(現 INTAGE CHINA Inc.)



2010年
創業50周年
ISO20252を取得

2010年
SCI-personal開始

2010年
ASKLEP CHINA Inc. 設立

2011年
FTA Research and Consultant, LLCと資本提携

2012年
ASKLEP TAIWAN Inc. 設立
ASKLEP CHINA Inc. 設立

2012年
INTAGE INDIA Private Limited 設立
医療情報総合研究所を子会社化

2013年
RPSアスクレップ株式会社 設立

2013年
INTAGE SINGAPORE PTE. LTD. 設立
i-SSP開始
Consumer Search Hong Kong Limited を
子会社化

2013年
持株会社制に移行し、商号を
株式会社インテージホールディングスに変更

Contents

 市場調査・コンサルティング事業
05-08

 システムソリューション事業
09

 医薬品開発支援事業
10

 株主還元策
11

 財務情報／会社関連情報
別紙

見通しに関する注意事項

このインベスターズガイドに掲載されている見通しは、現在入手可能な情報から得られたインテージの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

市場調査・コンサルティング事業

市場調査・コンサルティング事業の主力商品は「パネル調査」です。パネル調査は、調査対象（人、世帯、店など）を長期間固定して継続的に調査することにより、時系列で市場動向を把握することができます。「カスタムリサーチ」はお客様のマーケティング課題に基づき、テーマごとに最適な調査を設計し、調査票作成から実査（フィールドワーク）、集計、分析を受託するサービスです。

事業会社

株式会社インテージ
 株式会社インテージリサーチ
 株式会社インテージ長野
 株式会社アンテリオ
 株式会社医療情報総合研究所
 株式会社プラメド
 INTAGE CHINA Inc.
 INTAGE (Thailand) Co., Ltd.
 FTA Research and Consultant, LLC
 INTAGE INDIA Private Limited
 INTAGE SINGAPORE PTE. LTD.
 Consumer Search Hong Kong Limited



食品



飲料



化粧品



日用雑貨品



一般用医薬品



金融



通信



自動車

お客様（メーカー）



<報告サイクル>
 ・毎月・毎週・毎日



パネル調査

長年にわたって収集している小売店と消費者のパネルデータは、お客様の市場動向や競合状況を把握するために不可欠な「インデックス（指標）」として、国内の主要企業約400社で活用されています。



収集したデータを分析し、お客様のマーケティング戦略立案や課題解決をサポートしています。

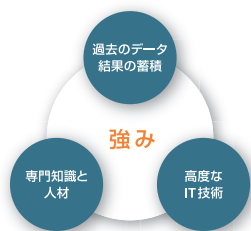
消費者パネル調査

小売店パネル調査

カスタムリサーチ

多種多様な調査手法と独自の分析力をベースに、リアルな市場の実態を反映した価値ある情報を提供しています。

パネル調査の強み



参入障壁が極めて高いビジネスモデル

- パネル調査の仕組みを構築するには多大な年月と費用が必要となるため、新規参入が困難
- データ収集の仕組みが装置的な構造となっていて、費用の多くは固定費。損益分岐点を超えると大きな利益が生まれ、さらに契約形態が年間契約のため、安定的な売上が確保できる

どんな世帯・個人が、何をどこで、いくらで買っているのか

SLI

全国女性消費者パネル調査



化粧品



日用雑貨品(一部)

全国の15歳から69歳の女性モニター40,060人を対象に、化粧品、ヘアケア商品、サプリメントなど女性用パーソナル商品に特化した購買データを、インターネットを活用して収集

SCI-personal

全国個人消費者パネル調査



食品



飲料



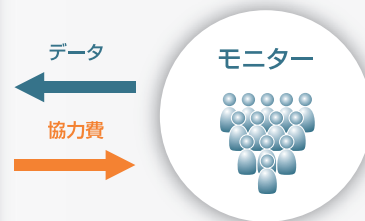
日用雑貨品



一般医薬品

全国の男女モニター50,000人を対象に、屋内外で消費する食品、飲料、日用雑貨品、一般医薬品の購買データを携帯可能な端末とインターネットを活用して収集

高品質なデータを元にインサイトを提供する日本最大の消費者パネル



いつ、どこで、どんなものが、いくらで売られているのか

SRI

全国小売店パネル調査



食品



飲料



化粧品



日用雑貨品

全国の主要小売店約4,000店を対象に、さまざまな商品カテゴリーのPOSデータを収集

各業界標準のインデックスとしてこの分野で圧倒的な強さを誇る

SDI

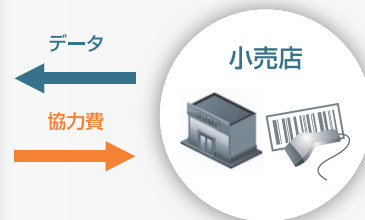
全国一般医薬品パネル調査

一般医薬品市場を知るための唯一のデータとして地位を確立



一般医薬品

全国の薬局、ドラッグストア、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなど約3,200店を対象に一般医薬品を中心としたヘルスケア関連カテゴリーに特化したPOSデータを収集



インターネット
(モニター数: 約138万人)



グローバル



訪問面接



郵送
(モニター数: 約21万人)



インタビュー



電話



グローバルネットワークの拡大

成長性の高いアジアでの確固たる地位の確立を目指す

高齢化や人口・世帯数減による国内消費市場の縮小によって、多くのお客様が中国をはじめとするアジア市場に成長の機会をシフトしています。インテージグループにおいても1999年に中国・上海市に事務所を開設して以来、INTAGE CHINA (中国) およびINTAGE (Thailand) (タイ) の設立、FTA Research and Consultant (ベトナム) のグループ入りなど、東南アジアにおける事業拡大を積極的に展開してきました。

今後も、東南アジア、インド、その他地域においてM&Aを含む積極展開を行い、グローバルシフトのスピードアップを図ります。中期目標としては、海外事業の連結売上高比率10%を設定するとともに、早期に中国調査市場でのトップ10入りを実現します。

インテージグループの海外拠点



Point

「マネジメントの現地化」を積極的に推進

ローカル・インサイトの提供を事業拡大の武器に



中期目標

- ・海外事業の連結売上高比率10%
- ・早期に中国調査市場でトップ10入り
- ・東南アジア、インド、その他地域でM&A含む積極展開



スマートフォン時代到来によるモバイルシフト

ドコモとインテージが作る明日『ドコモ・インサイトマーケティング』

ドコモ・インサイトマーケティングは、モバイルを核とする総合サービス企業を目指すエヌ・ティ・ティ・ドコモ（以下ドコモ）と、データの分析・商品化に関するノウハウを保有するインテージによって、メーカー・小売業等の企業が行うマーケティング活動を支援する付加価値の高い新事業の展開を目的に設立いたしました。主にリサーチ事業およびコミュニケーションサービス事業を展開し、スマートフォンなどモバイル端末の即時性を活用したリアルタイムなネットリサーチやプロモーション領域などに挑戦していきます。

今後の展開について

スマートフォン、タブレットPCの登場によってマルチデバイス化が進み、モバイルがその中心になろうとしています。生活者の情報、購買行動が変わり、リサーチモニターの調査協力もPCからスマートフォンやタブレットへ変化してきています。ドコモ・インサイトマーケティングでは、ドコモのプレミアクラブ会員をベースとした、現在のPC調査モニターという枠にとらわれずオープンかつ短時間に調査が可能な、質量ともに新たな競争優位性を持ったモニター基盤を構築、提供しています。また、従来のリサーチやソーシャルメディアでは捉えきれなかった新しい情報に迫るため、モバイルならではの即時性や位置情報、写真などの多様な情報と、インテージのリサーチノウハウやインテリジェンスを融合し、“生活のエピソード”を捉えていく「生活者パネル」（仮称）の発想を具現化していきます。



●「プレミアクラブ」「Premier Club」および「プレミアクラブ」ロゴは、登録商標です。

投資家の皆さまへのメッセージ



代表取締役社長
村上 清幸

ドコモ・インサイトマーケティングではリサーチモニターの発想や規模を変え、『誰でも、いつでも、気軽に』安心してリサーチに参加できる仕組みを構築することで、成熟化し価格競争が進むインターネットリサーチ市場でのゲーム・チェンジを起こしたいと考えています。また、インテージの強みであるパネルデータや戦略支援力に加え、生活起点の機微を捕捉した消費者情報を提供することでお客様とのパートナーシップをより深め、マーケティングに貢献していきます。ドコモとインテージ、また生活者と企業の価値共創へ。今後の展開にどうぞご期待ください。

システムソリューション事業

システムソリューション事業は、ソフトウェアの開発・販売から、システムの運用、維持・管理、データセンター運用などを主たる業務としています。

さらに、システムの構築・運用による業務プロセス改善の支援だけでなく、お客様の業務に関わる膨大なデータ評価、分析、コンサルテーションなど、経営戦略的な側面への支援まで幅広いサービスを提供しています。

インテージグループが開発しているさまざまなソリューション

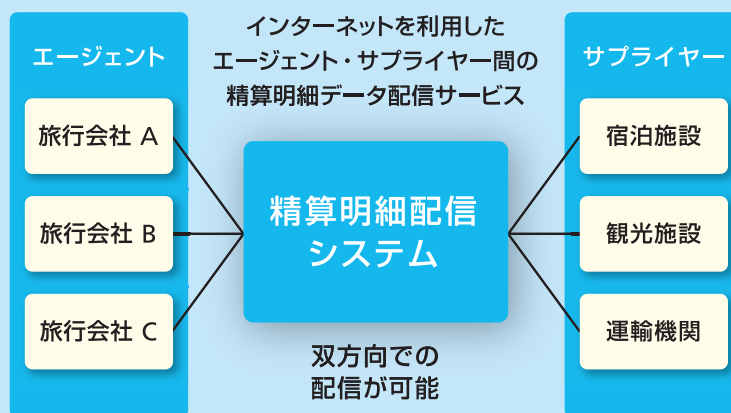


顧客資産を活用した業界特化型ソリューションの提供

旅行業界向け精算支援システム

当社では長年にわたって培ってきた顧客・業界精通性を武器に、各業界に特化したトータルソリューションサービスを独自に開発・提供しています。

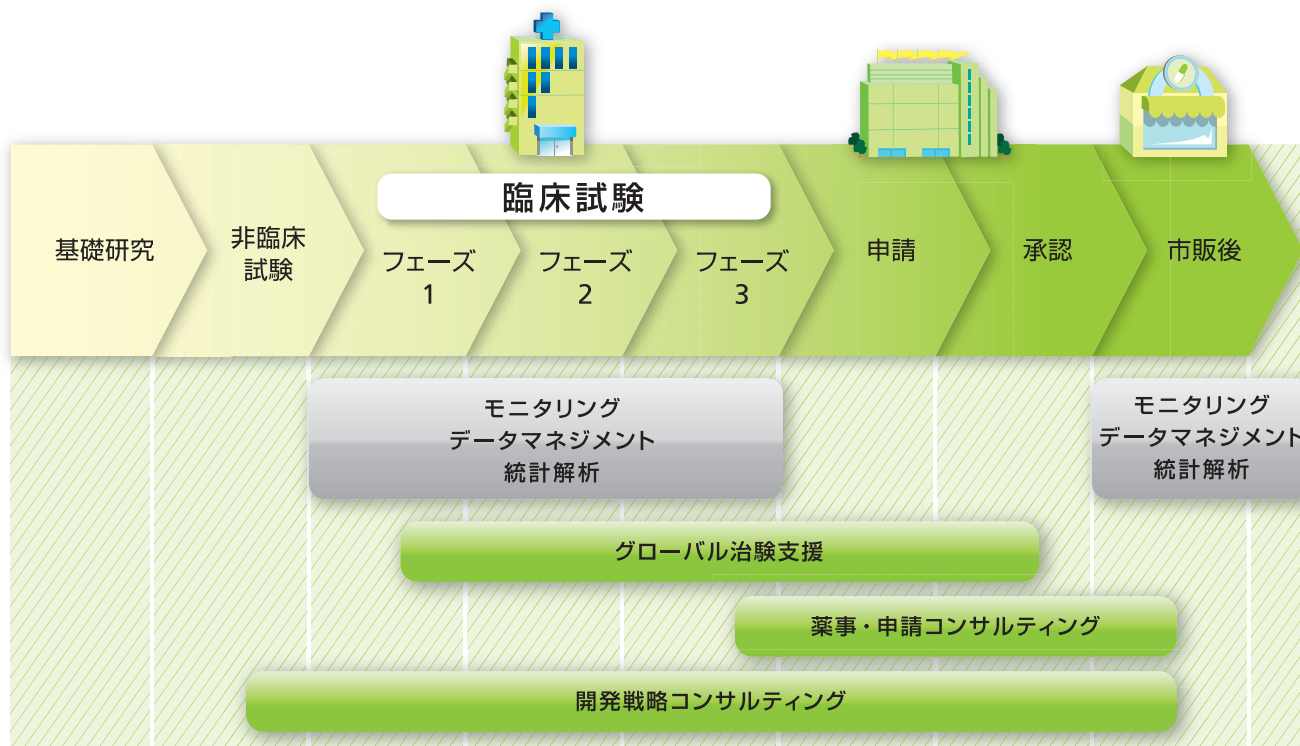
なかでも、大手旅行代理店をはじめとした旅行業界のさまざまな顧客に提供している「Web精算明細配信システム」や「国内航空券共同精算システム」といった精算支援システムは全国約10,000施設で活用されており、業界標準インフラとしてその地位を確立しています。



医薬品開発支援事業

医薬品開発支援事業では、CRO（医薬品開発業務受託機関）業務を展開しています。CRO業務は、製薬企業からの委託により、モニタリング業務（治験の進行状況の管理など）やデータマネジメント・解析業務（治験データの分析など）を実施し、医薬品開発をサポートしています。

医薬品開発の流れとサービスラインナップ



グローバル治験に関わる取り組み ~ Action for ACTS (Asian Clinical Trials and Solutions)~



株式会社アスクレップ
代表取締役社長
市川 宏司

近年、医薬品業界では新薬開発の国際化・ボーダレス化が進み、世界同時開発や国際共同臨床試験が常識となっています。

一方、日本は長年ローカルスタディのみを実施してきたため、グローバルスタディの実施においてインフラや人材などの面で他のアジア諸国から大きく遅れ、ドラッグラグが深刻な社会問題となっています。しかし、日本を含めたアジア人の遺伝的特性や民族的特性が研究されることでアジア地域での臨床試験の重要性が増しており、医薬品の種類や疾患によっては「国際共同臨床試験」の軸足はグローバルスタディからリージョナルスタディへ移りつつあります。

アスクレップではこのリージョナルスタディこそ、日本がアジアにおけるイニシアチブを獲得するチャンスだと考えています。

今後はアジアNo.1の“Drug Lifecycle Solution Provider”を目指して、日本を含むアジア地域での試験をターゲットに、医薬品の臨床開発とその後のライフサイクルマネジメントに対しユニークかつ高品質なソリューションを提供していきます。

株主還元策

株主優待

日頃のご支援に対する感謝の気持ちを込めて、バラエティ豊かな株主優待を実施しています。

〈対象となる株主様〉

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載された、当社株式を1単位（100株）以上保有されている株主様。

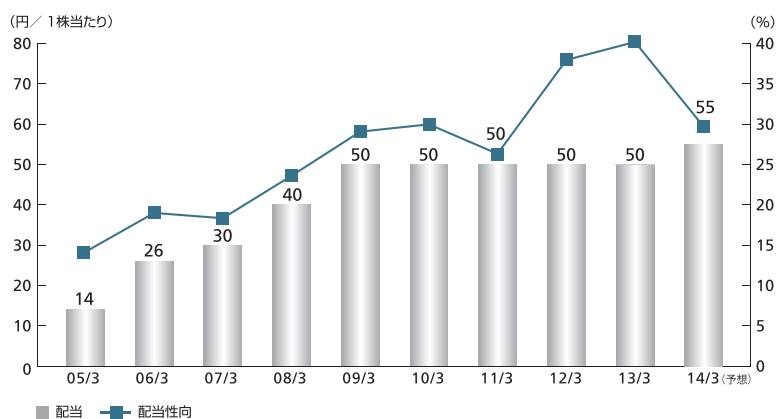
		全国共通ゆうえんち券	全国共通映画鑑賞券	花とみどりのギフト券	東京国立博物館パスポート [※]
優待品 (1つを選択)					
所有株式数	100株以上300株以下	2,000円分 (500円×4枚)	1枚	2,000円分 (1,000円×2枚)	無し
	301株以上1,000株以下	4,000円分 (500円×8枚)	2枚	4,000円分 (1,000円×4枚)	1枚
	1,001株以上	8,000円分 (500円×16枚)	4枚	8,000円分 (1,000円×8枚)	2枚

※東京・京都・奈良・九州の4館で使用可

		長野の名産品 信州そば 信州リンゴ	東京の名産品 江戸前佃煮	QUOカード	寄付 (任意の1団体を指定)
優待品 (1つを選択)					財団法人 C.W.ニコレ・アフンの森財団 財団法人日本盲導犬協会 財団法人日本ユニセフ協会 日本赤十字社 (東日本大震災義援金口)
所有株式数	100株以上300株以下	信州そば 2,000円相当 信州リンゴ 4,000円相当	江戸前佃煮 2,000円相当 江戸前佃煮 4,000円相当	2,000円分 (2,000円×1枚) 4,000円分 (2,000円×2枚)	2,000円分 4,000円分
	301株以上1,000株以下	信州リンゴ 4,000円相当	江戸前佃煮 4,000円相当	4,000円分 (2,000円×2枚)	4,000円分
	1,001株以上	信州リンゴ 8,000円相当	江戸前佃煮 8,000円相当	8,000円分 (2,000円×4枚)	8,000円分

配当および配当性向

当社は連結業績をベースに、配当と内部留保のバランスを考慮した利益配分を行うことを基本的な考え方としています。株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけ、連結配当性向は25%を目安にしています。





お問い合わせ先 株式会社インテージホールディングス 財務IR部

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地 インテージ秋葉原ビル
TEL.03-5294-7411 FAX.03-5294-0199

URL: <http://www.intageholdings.co.jp/ir/>



2013101000

TOP15 グローバルリサーチ企業 出典：Marketing News誌(アメリカマーケティング協会) / August 2013

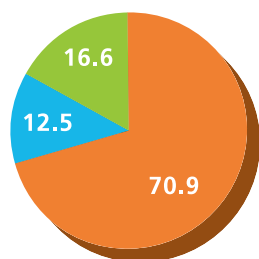
2012 Rank	企業名	本社所在国	売上金額(百万U.S.\$)
1	Nielsen Holdings N.V.	米国	5,429.0
2	Kantar	英国	3,338.6
3	Ipsos SA	フランス	2,301.1
4	GfK SE	ドイツ	1,947.8
5	IMS Health Inc.	米国	775.0
6	Information Resources Inc.	米国	763.8
7	INTAGE Inc.*	日本	500.3
8	Westat Inc.	米国	495.9
9	Arbitron Inc.	米国	449.9
10	The NPD Group Inc.	米国	272.0
11	comScore Inc.	米国	255.2
12	Video Research Ltd.	日本	250.2
13	IBOPE Group	ブラジル	246.8
14	ICF International Inc.	米国	239.7
15	J.D. Power and Associates	米国	234.4

* 2013年3月期の数値

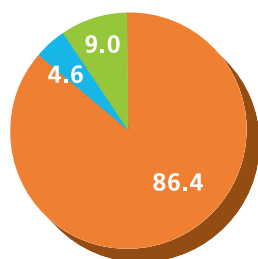
事業別売上高／営業利益

セグメント別構成比

事業別売上高構成比
(単位：%)



事業別営業利益構成比
(単位：%)

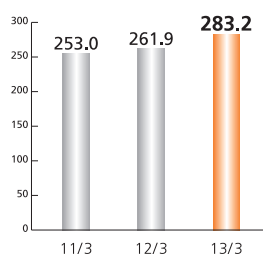


■ 市場調査・コンサルティング事業 ■ システムソリューション事業
■ 医薬品開発支援事業

市場調査・コンサルティング事業

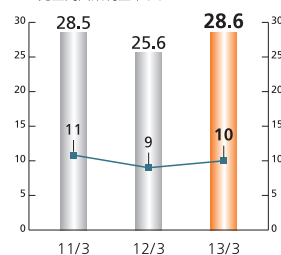
売上高

■ 売上高(単位：億円)



営業利益

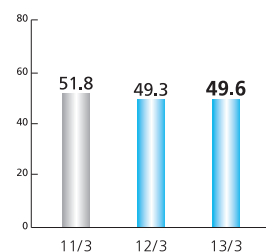
■ 営業利益(単位：億円)
■ 売上高営業利益率(%)



システムソリューション事業

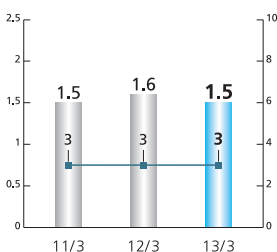
売上高

■ 売上高(単位：億円)



営業利益

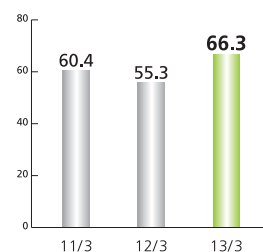
■ 営業利益(単位：億円)
■ 売上高営業利益率(%)



医薬品開発支援事業

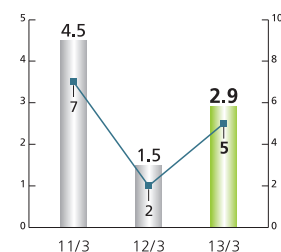
売上高

■ 売上高(単位：億円)



営業利益

■ 営業利益(単位：億円)
■ 売上高営業利益率(%)



10年間の要約連結財務データ

株式会社インテージおよび連結子会社 / 3月31日に終了した事業年度

(単位: 百万円)

	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004
会計年度:										
売上高	¥39,930	¥36,658	¥36,538	¥34,526	¥34,345	¥33,104	¥30,800	¥28,777	¥26,619	¥23,899
売上原価	29,121	25,874	26,021	24,138	23,870	22,755	21,958	20,681	19,285	17,626
販売費及び一般管理費	7,499	7,898	7,051	7,131	7,154	7,034	5,910	5,481	5,147	4,565
営業利益	3,309	2,885	3,465	3,256	3,320	3,314	2,930	2,614	2,186	1,708
当期純利益	1,249	1,325	1,915	1,679	1,728	1,765	1,626	1,361	997	665
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,433	2,943	3,025	2,905	3,190	2,247	2,042	1,627	1,230	967
投資活動によるキャッシュ・フロー	(1,332)	(3,341)	(1,052)	(1,810)	(1,554)	(1,033)	(1,902)	(1,060)	(1,652)	(376)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(960)	675	(1,108)	(924)	(1,707)	(546)	9	(597)	667	97
現金及び現金同等物の期末残高	5,906	4,599	4,337	3,484	3,303	3,394	2,721	2,569	2,595	2,348
会計年度末:										
総資産	29,398	27,730	24,660	23,349	21,180	21,261	20,272	17,945	17,364	15,191
純資産	15,493	14,517	13,757	12,386	11,590	10,288	9,034	7,454	6,238	5,366
自己資本比率 (%)	52.5	52.3	55.8	53.0	54.2	47.9	43.4	41.5	35.9	35.3
1株当たり情報 (円):										
当期純利益	124.30	131.85	190.51	164.31	168.69	170.10	157.58	129.34	94.13	63.33
純資産	1,534.58	1,442.25	1,367.39	1,230.86	1,120.90	994.41	851.35	719.52	601.81	518.71
配当金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	40.00	30.00	26.00	14.00	12.00
その他の情報 (%):										
売上高営業利益率	8.3	7.9	9.5	9.4	9.7	10.0	9.5	9.1	8.2	7.1
ROA (総資産経常利益率)	11.2	10.9	14.3	14.5	15.6	16.0	15.2	14.7	12.5	10.9
ROE (自己資本当期純利益率)	8.4	9.4	14.7	14.1	15.9	18.6	20.0	19.9	17.2	13.1

注1: 2006年の会社法施行に伴い、これまでの株主資本に少数株主持分などを加え、2007年3月期以降は純資産として数字を開示しています。

2: 2007年3月期以降のROE = 当期純利益 ÷ 期中平均自己資本 × 100

株式情報 (2013年3月31日現在)

株式の状況

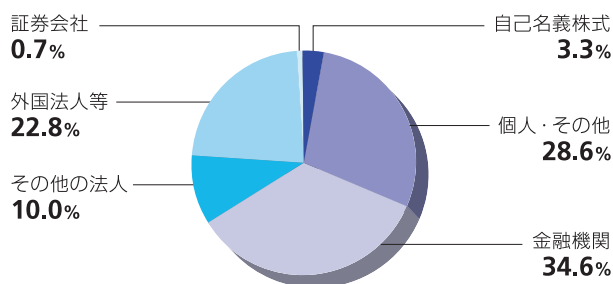
発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式の総数	10,404,000株
株主数	3,256名

大株主の状況

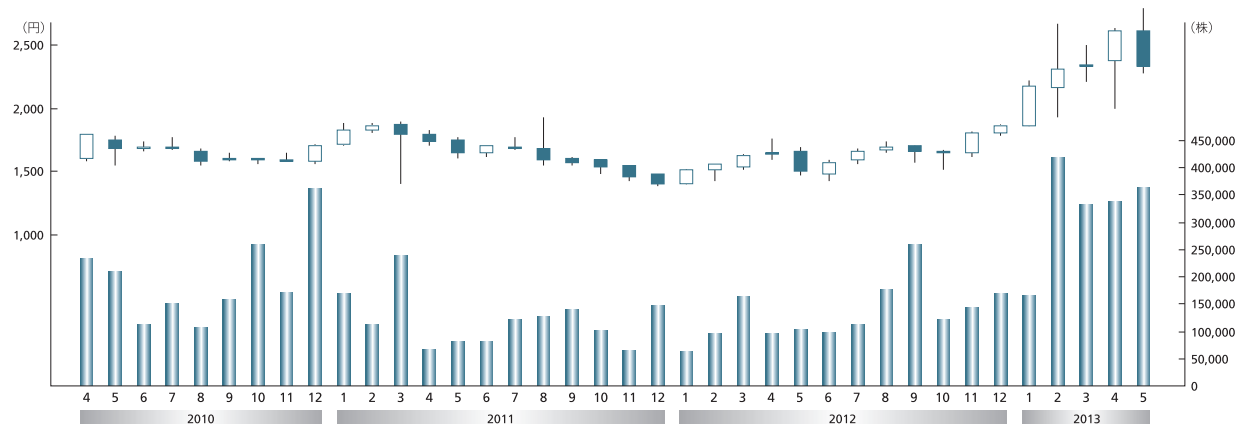
株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
ビービーエイチ フィデリティー ロープライズストック ファンド	1,040,000	10.3
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託エーザイロ 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	900,000	8.9
インテージ従業員持株会	669,226	6.7
株式会社埼玉りそな銀行	502,000	5.0
豊実実業株式会社	455,000	4.5
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー アカウント	390,254	3.9
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	388,600	3.9
株式会社みずほ銀行	350,000	3.5
日本生命保険相互会社	350,000	3.5
第一生命保険株式会社	350,000	3.5

*持株比率は自己株式(347,509株)を控除して計算しております。

株式分布状況 (合計3,256名)



株価および出来高の推移



会社概要

社名	株式会社インテージホールディングス
住所	東京都千代田区神田練塀町3番地 インテージ秋葉原ビル Tel.03-5294-7411 Fax.03-5294-0199
設立	1960年3月
資本金	16億8,140万円
従業員数	連結2,465人 ※2013年3月31日現在
事業所	ひばりヶ丘事業所／東久留米事業所／西日本支社

■ インテージグループ

< グループ会社 国内 >

株式会社インテージ
<http://www.intage.co.jp/>

株式会社アスクレップ
<http://www.asklep.co.jp/>

株式会社インテージリサーチ
<http://www.intage-research.co.jp/>

株式会社インテージ長野
<http://www.intage-nagano.co.jp/>

株式会社インテージ・アソシエイツ
<http://www.intage-associates.jp/>

株式会社アンテリオ
<http://www.anterio.co.jp/>

株式会社医療情報総合研究所
<http://www.jmiri.jp/>

株式会社プラメド
<http://www.plamed.co.jp/>

RPSアスクレップ株式会社

< グループ会社 海外 >

INTAGE CHINA Inc.
<http://www.intage-china.com/>

INTAGE (Thailand) Co., Ltd.
<http://www.intage-thailand.com/>

FTA Research and Consultant, LLC
<http://www.ftaresearch.com/>

INTAGE INDIA Private Limited
<http://www.intage-india.com/>

INTAGE SINGAPORE PTE. LTD.

Consumer Search Hong Kong Limited
<http://www.csg-worldwide.com/>

ASKLEP CHINA Inc.
<http://www.asklep-china.com/>

ASKLEP TAIWAN Inc.
<http://www.asklep.com.tw/>

ASKLEP KOREA Inc.

< 合併会社 >

株式会社ドコモ・インサイトマーケティング
<http://www.dcm-im.com/>

役員一覧 (2013年6月21日現在)

取締役会長	たおひ のりお 田下 憲雄	取締役	いちのせ ひろゆき 一ノ瀬 裕幸	常勤監査役	さかもと とおる 坂本 徹
代表取締役社長	みやくび けんじ 宮首 賢治	取締役	よこた すすむ 横田 進	常勤監査役	くどう まさむ 工藤 理
常務取締役	なんごう いたる 南郷 格	取締役	まつもと すすむ 松本 享	社外監査役	たかぎ まさる 高木 賢
常務取締役	いしづか のりあき 石塚 純晃	社外取締役	うえはら せきひこ 上原 征彦	社外監査役	さいとう としお 齊藤 紀夫